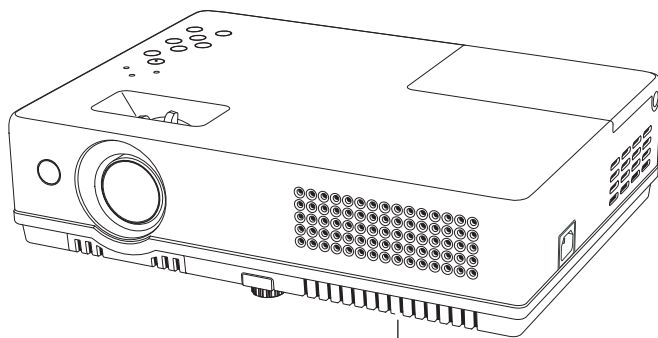
取扱説明書

液晶プロジェクター

品番 LP-XW60

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに４～ 13 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は裏面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XW60 の特長

1024x768ドットの高解像度液晶パネル採用。

XGA画像をリアル表示

WXGA、SXGA、SXGA+、UXGAを圧縮表示(アナログ)

小型・軽量(1.6Kg)・コンパクトデザイン

使用後すぐに持ち運びができる、イージーオフ機能

❏ ファンの停止を待たずに、電源コードを抜くことができます。

オートセットアップボタン

❏ ボタン１つで自動入力切換（入力信号の有無を検知して投映)、PC 調整、キーストーン（上下）のセットアップができます。

入・出力切り換え可能D-sub端子を装備

❏ コンピュータ入力または、コンピュータ出力として切り替えて使用することができます。

暗証番号を登録してセキュリティ強化

❏「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

ランプの明るさが調整できるランプコントロール機能

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

さまざまな設置方法に対応

❏ 天吊り
❏ 据置
❏ リア投映

プログレッシブスキャン

❏ プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投映します。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

❏ コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
❏ 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。（コンピュータモード時）
❏ 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。
❏ 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
❏ 画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
❏ プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
❏「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
❏ 音声を一時的に消す「MUTE」機能。
❏「黒（緑）板」「カラーボード」モードでスクリーンがなくても黒（緑）板や色のついた壁などに投映して通常のスクリーンに投映したときの色合いを再現。

ランプの交換時期を画面表示でお知らせ

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能

海外の映像システムにも対応できる6カラーシステム

❏NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

～本説明書中の記号について～	
(注意マーク)	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
(電球マーク)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
(指マーク)	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。　例：[SELECT] ボタン、[COMPUTER IN 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。　例：「インプット」、「セッティング」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警 告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
	注 意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

■絵表示の例

	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⦸の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 煙が出ている
- 変なにおいや音がする
- 水など液体が本機の内部に入った
- 金属類や異物が本機の内部に入った
- 画面が映らない
- 大きな音が出てランプが消えた

禁　止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

禁　止

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。
※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

⚠ 警告

禁　止

水ぬれ禁止

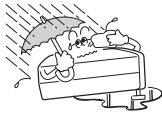
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災･感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

禁　止

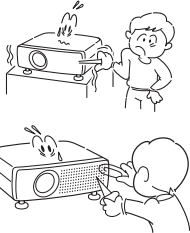
不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

警　告

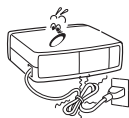
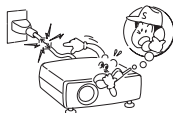
「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

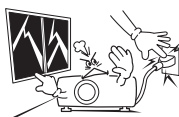
禁　止

吸気口・排気口にご注意下さい。

・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
・本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
・電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ･ごみ･汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
・電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

禁　止

本機やリモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

アース線を
接続せよ

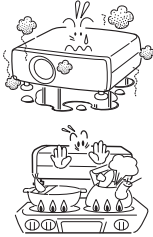
アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、27 ページをご覧ください。）

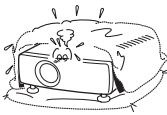
⚠ 警告

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注意

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

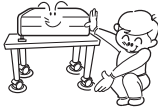
・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

・設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
・空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
・次のような使い方はしないでください。
  * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
  * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  * じゅうたんや布団の上に置く。
  * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方 20cm 以上、側面・後面各 50cm 以上、排気口 1m 以上）

⚠ 注意

注　意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

注　意

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。
故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。
輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 付属キャリングケースについて●

付属のキャリングケースは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリングケースは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリングケースに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリングケースに入れた液晶プロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。液晶プロジェクターをキャリングケースで輸送しないでください。破損の原因となります。（液晶プロジェクターを付属のキャリングケースへ入れるときは、レンズ部分が上にくるように入れてください。）

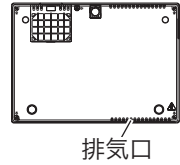
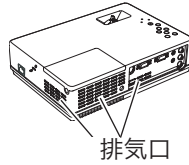
● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

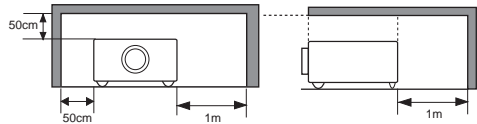
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して､画質を損なう原因になります。また､高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 35℃	保管温度範囲	－ 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

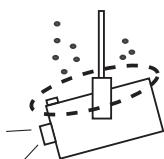
吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

（上方 20cm 以上、側面 50cm 以上、排気口・後面各 1m 以上）

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 80 ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。
天井から吊り下げて設置するときは、落下しないようにしっかりと固定してください。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。

傾きは 20° 以内に

左右への傾きは各 20 度以内としてください。

横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。

上向き禁止

上向きに設置して投映しないでください。

下向き禁止

下向きに設置して投映しないでください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

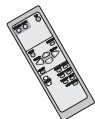
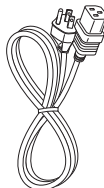
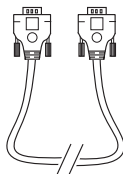
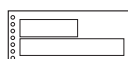
プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

1. リモコン(CXVM)
2. リモコン用アルカリ乾電池（単3形 2本）
3. 電源コード
4. 電源プラグアダプタ
5. コンピュータケーブル（D-sub 用）
6. 取扱説明書 (本書)
7. 保証書
8. お客さまご相談窓口一覧
9. レンズキャップ
10. レンズキャップ用ひも
11. レンズキャップ用ネジ
12. PIN code lock シール*
13. キャリングケース
14. フェライトコア

* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 102 ページ

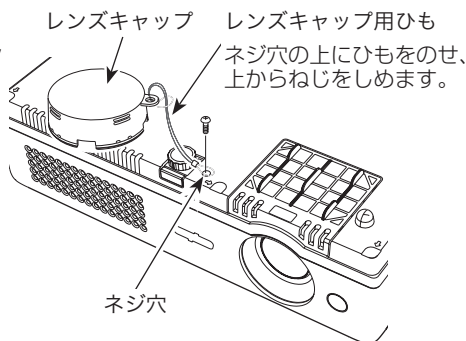
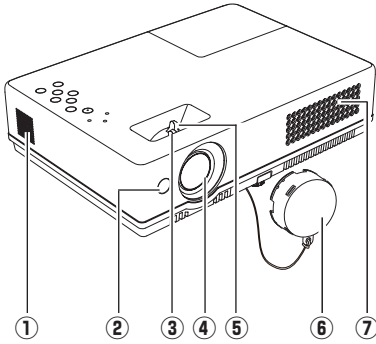
<レンズキャップを取り付ける>

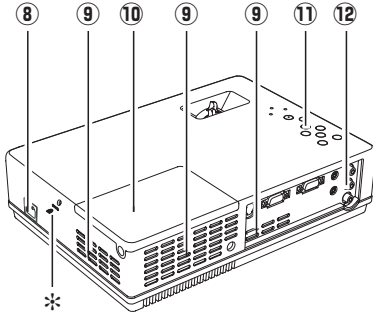
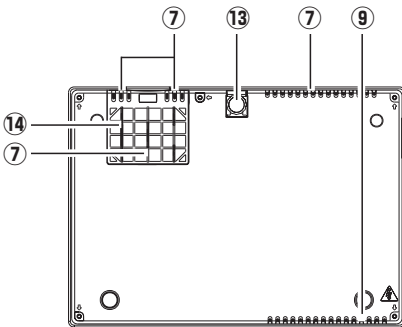
本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップをはめてください。

1 レンズキャップの穴にひもを通します。

2 ネジ穴にひもをのせ、ひもの上からネジをしめて、本機に取り付けます。

前面

後面

底面

ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① スピーカ
② リモコン受信部
③ フォーカスレバー
④ レンズ
⑤ ズームレバー
⑥ レンズキャップ ※1
⑦ 吸気口 ※2
⑧ 電源コード接続ソケット
⑨ 排気口 ※3
⑩ ランプカバー
⑪ 操作パネル・インジケータ
⑫ 後面端子
⑬ 調整脚
⑭ エアフィルター

✻ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1

ランプ点灯中はレンズキャップをかならずはずしてください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

※2

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

※3

スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

機器をつなぐ端子

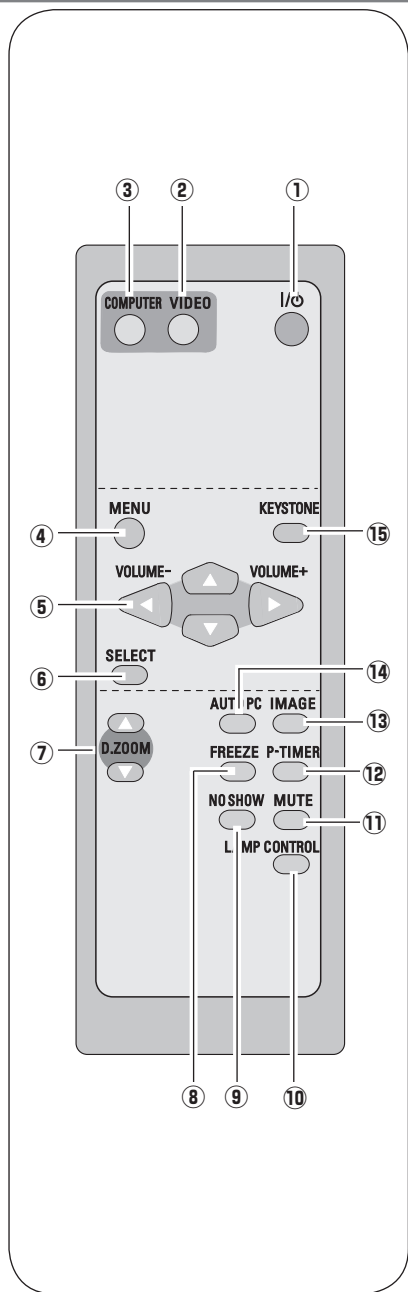
後面端子

①	**SERVICE PORT（サービス用端子）** サービスマン用の端子です。
②	**COMPUTER IN 1/ S-VIDEO IN / COMPONENT IN** **（コンピュータ /S 映像 / コンポーネント入力端子）** 23 ～ 25 ページ コンピュータからの信号、ビデオ機器からのＳビデオ信号またはコンポーネント信号を入力します。 接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub 用）または別売の D-sub/ S-video、D-sub/ コンポーネントケーブル、を使用します。 ※ 市販の長いコンピュータケーブルを使うときは、この端子に接続してください。
③	**COMPUTER IN 2/MONITOR OUT** **（コンピュータ入力 / モニター出力端子）** 23 ページ コンピュータからのアナログ信号を入力します。 また、コンピュータのモニター出力として切り換えて使用することができます。 接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub 用）を使用します。

④	**AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）** 23 ～ 25 ページ ②、③、⑤に接続された投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。
⑤	**VIDEO IN（ビデオ入力端子）** 24 ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
⑥	**AUDIO IN（音声入力端子）** 24 ページ ②に接続されたＳビデオまたは⑤に接続されたビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は[L (MONO)］端子へ接続してください。
⑦	**COMPUTER/COMPONENT/ AUDIO IN** **（コンピュータ / コンポーネント音声入力端子）** 23、25 ページ ②または③に接続された、コンピュータまたはコンポーネントからの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

操作パネルとインジケータ

①	**SELECT ボタン** 39、56 ページ ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
②	**ZOOM/ ポイント ボタン（▲▼）** 34、39 ページ オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、ズーム機能の調整に使用します。
③	**AUTO SETUP ボタン** 34、60 ページ 「自動入力切換」で設定した、「PC 調整、キーストーン（上下）」を自動調整、自動補正します。
④	**I/⏻ ON / STAND-BY ボタン** 28、31 ページ 電源を入り・切りします。
⑤	**WARNING インジケータ** 81 ～ 84 ページ 赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。
⑥	**LAMP REPLACE インジケータ** 77、83、84 ページ ランプの交換時期を知らせます。
⑦	**MENU ボタン** 41 ページ メニューバーを表示します。
⑧	**VOLUME/ZOOM/ ポイント ボタン（◀ ▶）** 34、38、39 ページ オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整、ズーム機能の調整に使用します。
⑨	**POWER インジケータ** 81 ～ 84 ページ プロジェクターの状態を示します。 点灯（赤）: 電源を入れる準備ができました。 点滅（赤）: ランプの冷却中です。 点灯（緑）: プロジェクターは動作中です。 点滅（緑）: パワーマネージメントモードがはたらいています。

リモコンのボタン

① オン/スタンバイ
I/⏻ ボタン ☞ 28、31 ページ
電源を入り・切りします。

② ビデオ
VIDEO ボタン ☞ 42、33 ページ
入力をビデオに切り換えます。

③ コンピュータ
COMPUTER ボタン ☞ 42、33 ページ
入力をコンピュータに切り換えます。

④ メニュー
MENU ボタン ☞ 40 ページ
メニューバーを出します。

⑤ ボリューム ズーム
VOLUME/ZOOM/ ポイント ボタン
☞ 34、38、39 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整、ズーム機能の調整に使用します。

⑥ セレクト
SELECT ボタン ☞ 39、56 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム モードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑦ デジタルズーム
D.ZOOM ボタン ☞ 56 ページ
デジタルズームの操作をします。

⑧ フリーズ
FREEZE ボタン ☞ 36 ページ
画面を一時的に静止させます。

⑨ ノー ショー
NO SHOW ボタン ☞ 37 ページ
画面を一時的に消します。

⑩ ランプ コントロール
LAMP CONTROL ボタン ☞ 36 ページ
ランプモードを選択します。

⑪ ミュート
MUTE ボタン ☞ 38 ページ
音声を一時的に消します。

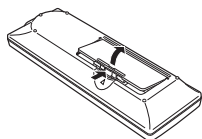
⑫ ピー タイマー
P-TIMER ボタン ☞ 37 ページ
プレゼンテーション（ボタンを押してからの）経過時間を表示させます。

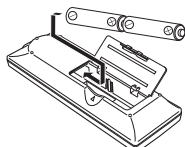
⑬ イメージ
IMAGE ボタン ☞ 35 ページ
イメージモードを選択します。

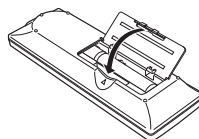
⑭ オートピーシー
AUTO PC ボタン ☞ 47 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

⑮ キーストーン
KEYSTONE ボタン ☞ 35 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

電池のいれかた

1 電池カバーを開けます。

ツメの部分を押して、引き上げます。

2 電池を入れます。

＋プラス、－マイナスに注意して付属の乾電池（単3形アルカリ乾電池2本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。

カチッと音がするまでしっかり閉じます。

電池を使用するときのご注意

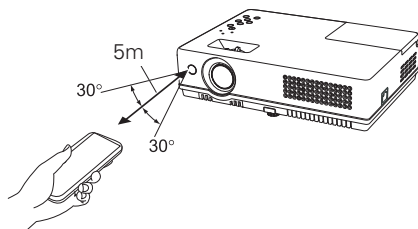
電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。
※間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

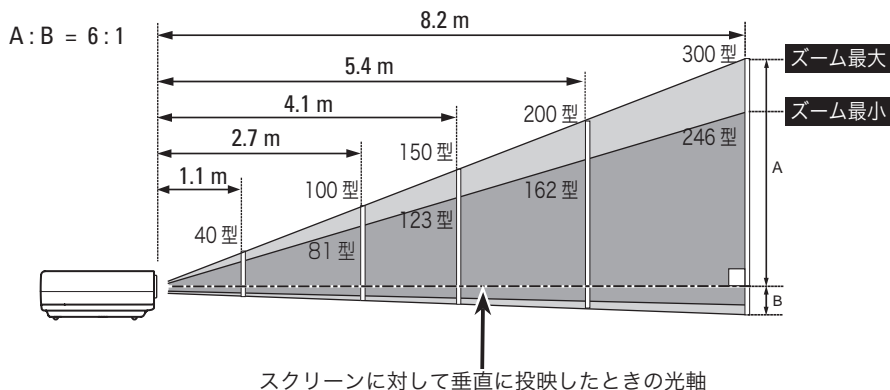
本機は 2 種類のリモコンコードの設定が可能です。2 台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。
たとえば、本機 (プロジェクター) を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。

リモコンコードの切り換え方

リモコンの［MENU］と［IMAGE］ボタンの両方を同時に 5 秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。また、長期間電池を入れずにいると、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

設置のしかた

スクリーンからのおよその投映距離と画面サイズの関係

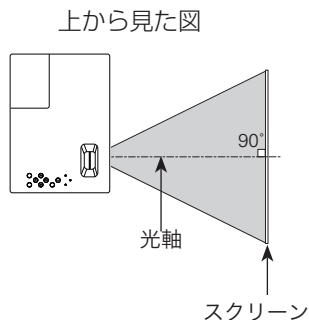
画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。本機の標準レンズの場合、スクリーンからレンズまでの距離が約 1.1m ～ 10.0m の範囲に設置してください。

画面サイズ	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
（幅 x 高さ : mm）	813 x 610	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572
投映距離（ズーム最大）	1.1m	2.7m	4.1m	5.4m	8.2m
投映距離（ズーム最小）	1.3m	3.3m	5.0m	6.7m	10.0m

※ 上表はアスペクト比 4：3 の画面サイズで投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 90 ～ 92 ページ

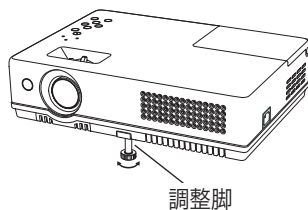
スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

※ スクリーンに対して過度に斜めに投映すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

上から見た図

投映画面の高さと傾きを調整する

1 本体前方を持ち上げてから、調整脚ロックを指で押して調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

2 調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約 10 度まで上がります。

左右方向の傾きは± 20 度以内に

左右の傾きが± 20 度以内になるように投映してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。35、61 ページ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

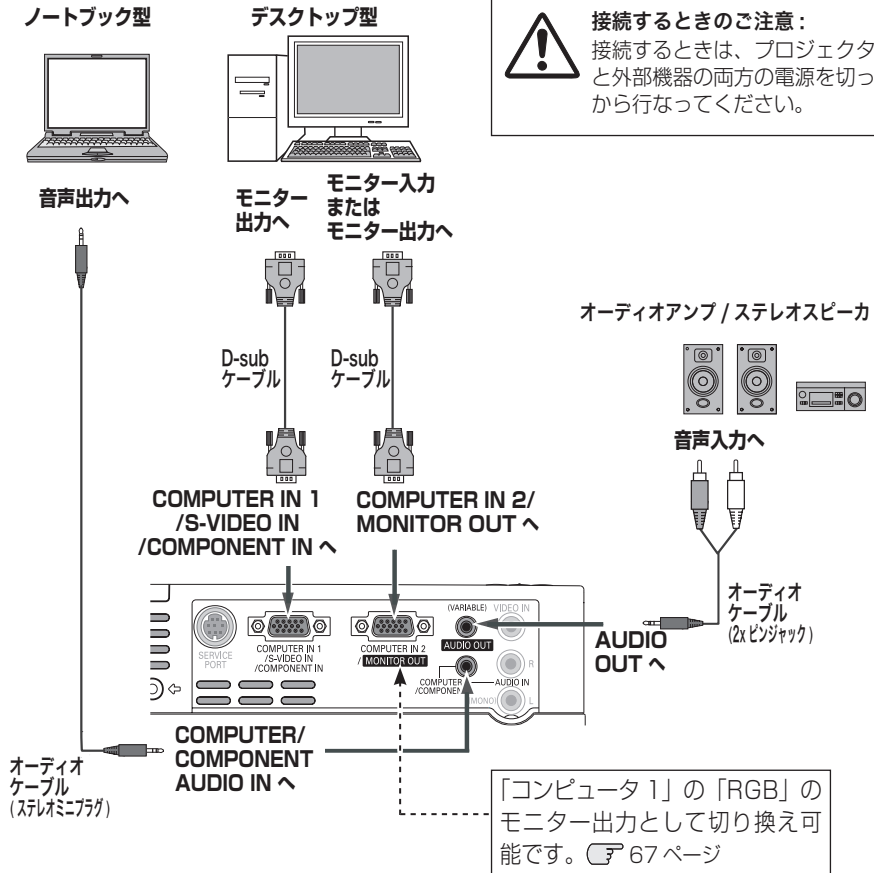
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

接続の例　～コンピュータ

接続に使用するケーブル（*＝市販のケーブルをお使いください。）

• D-sub ケーブル
• オーディオ ケーブル　（ステレオミニプラグ *、または 2x ピンジャック *）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

「コンピュータ 1」の「RGB」のモニター出力として切り換え可能です。67 ページ

※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続の例　～ビデオ 1

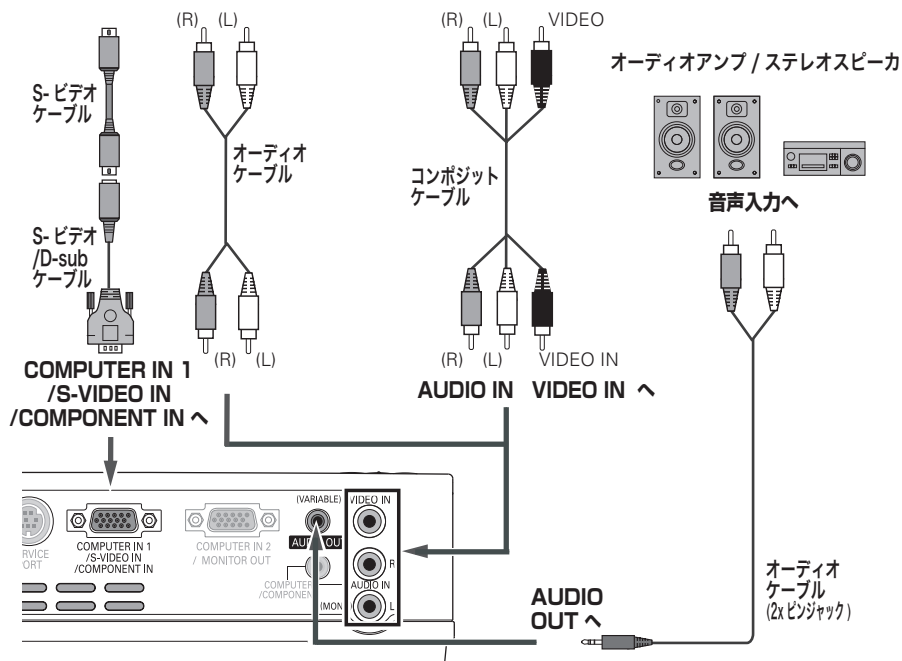
接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル（3x ピンジャック）
- S ビデオ ケーブル（ミニ DIN 4 ピン、D-sub/S ビデオ）
- オーディオ ケーブル（ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。（D-sub/S ビデオケーブルは別売がありますが、ミニ DIN4 ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。☞ 99 ページ）

ビデオ / ビデオディスク プレーヤ

S 映像出力へ

コンポジット映像出力へ

(R) (L)

(R) (L) VIDEO

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

S- ビデオ ケーブル

オーディオ ケーブル

コンポジット ケーブル

音声入力へ

S- ビデオ /D-sub ケーブル

(R) (L)

(R) (L) VIDEO IN

COMPUTER IN 1 /S-VIDEO IN /COMPONENT IN へ

AUDIO IN　VIDEO IN へ

(VARIABLE) VIDEO IN

COMPUTER IN 1 /S-VIDEO IN /COMPONENT IN

COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT

AUDIO IN R L

オーディオ ケーブル (2x ピンジャック)

AUDIO OUT へ

※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

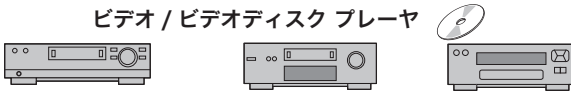
接続するときのご注意 :

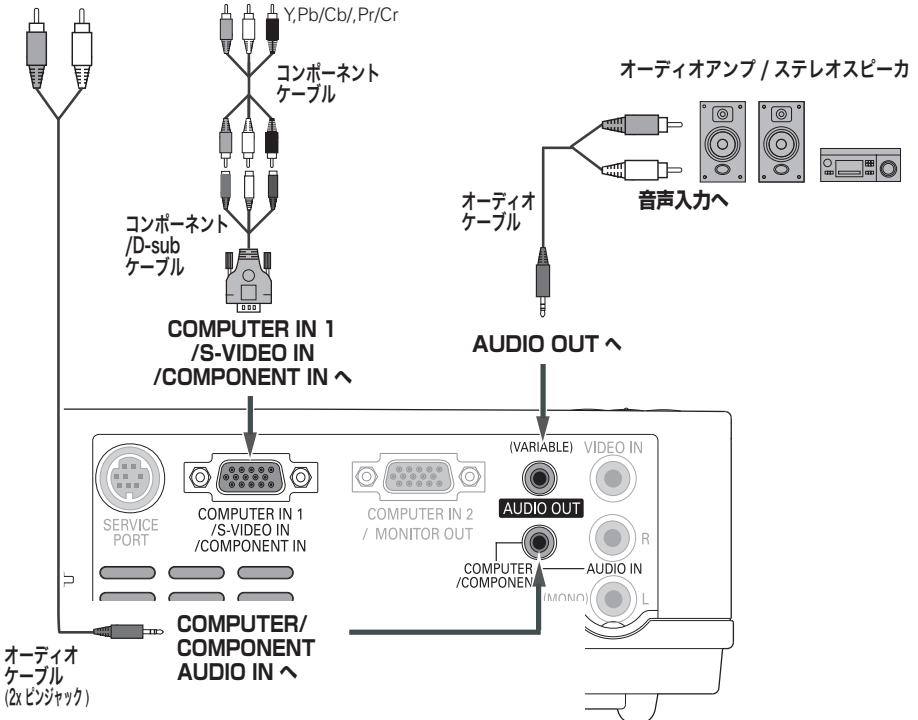
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例　～ビデオ 2

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル（3x ピンジャック、D-sub/ コンポーネント）
- オーディオ ケーブル （ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。（D-sub/ コンポーネントケーブルは別売がありますが、3 ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。99 ページ）

ビデオ / ビデオディスク プレーヤ

音声出力へ　コンポーネント映像出力へ

Y,Pb/Cb/,Pr/Cr

コンポーネントケーブル

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

音声入力へ

オーディオケーブル

コンポーネント/D-subケーブル

COMPUTER IN 1 /S-VIDEO IN /COMPONENT IN へ

AUDIO OUT へ

(VARIABLE) VIDEO IN

SERVICE PORT

COMPUTER IN 1 /S-VIDEO IN /COMPONENT IN

COMPUTER IN 2 / MONITOR OUT

AUDIO OUT

R

COMPUTER /COMPONENT AUDIO IN

(MONO) L

オーディオケーブル (2x ピンジャック)

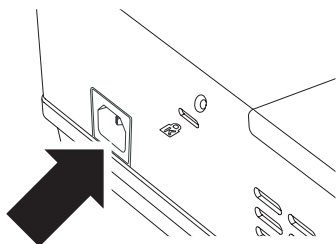
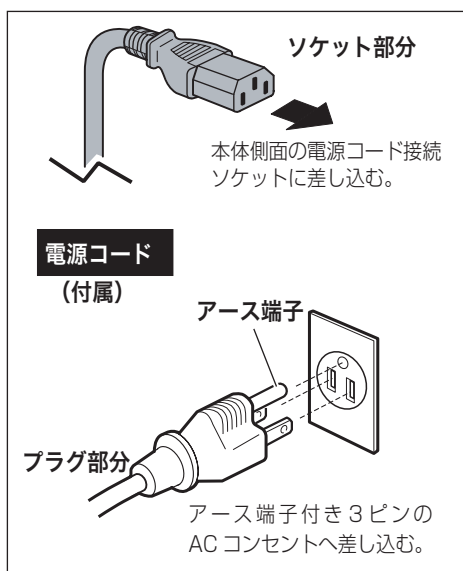
COMPUTER/ COMPONENT AUDIO IN へ

※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、16、23 ～ 25 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

電源コード取扱上の注意

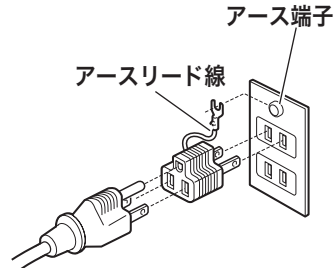
電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

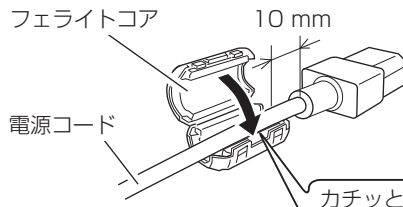
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンや操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源を切っても約 3.8W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

安全のために電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き３ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが２ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。

付属フェライトコアのご使用について

ご使用前に、フェライトコア（付属）を電源コードに取り付けてください。このフェライトコアは他の機器への受信妨害を抑えるためのものです。
（取付位置は右図参照）

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、16、23 ～ 25 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを AC コンセントに接続します。☞ 26 ページ
［POWER］インジケータ (赤) が点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタン ＊ を押して電源を入れます。＊
［POWER］インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン ＊＊ が終わると画像が投映されます。
スタート時画面左上に「ランプコントロール」(☞ 72 ページ)、インプットモード、自動入力切換 ❖」が約 4 秒間表示されます。

このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 71 ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は 30 ページを参照してください。

また、入力信号が見つからないときは、次ページのガイダンスが表示されます。

リモコン

＊ 1）セッティングメニューで「オンスタート・オン」(☞ 71 ページ）に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
2）セッティングメニューで「自動入力切換・オン 2」(☞ 60 ページ）に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

＊＊ セッティングメニューで、

- 「オンスクリーン表示･オン」(☞ 62 ページ)、「ロゴ選択･オフ」(☞ 62 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 62 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 62 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。
- 「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」(☞ 62 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 62 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

ランプモード、インプットモード、自動入力切換の表示 ❖

＊ リモコンの［ I/⏻ ］ボタン、操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンはまとめて、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンと表記します。

入力信号が見つからないとき

無信号時に表示されます。表示されるガイダンスに合わせて接続状況を確認することができます。

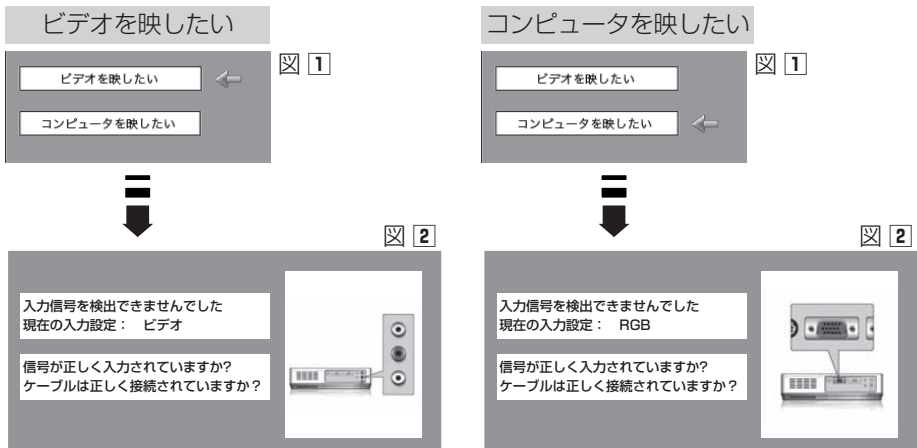
※「オンスクリーン表示･オフ」(62 ページ) のとき、メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

1 入力信号が見つからないときに下図 1 が表示されます。[ポイント] ボタンの上下でビデオまたはコンピュータを選択します。

2 自動的に信号の有無を確認し、それでも入力信号が確認されないときは、下図 2 が表示されます。信号の種類やケーブルの接続状況、出力機器の状況を確認してください。

※ 約 30 秒表示され、その後下図 1 に戻ります。このとき「自動入力切換･オン 1/ オン 2」のときは信号を検索してから下図 1 に戻ります。

ビデオを映したい

コンピュータを映したい

ケーブルが正しく接続されていても、映らないときは、コンピュータの外部出力設定を取扱説明書などで確認してください。また、ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。

※ 本機は設定により電源を切った後のファンの回転速度を変えることができます。
 74 ページ

暗証番号の入力

※ 31 ページの「電源を入れる ***1***・***2***」に続いて・・・

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、28 ページの「手順 ***2***」でカウントダウン★が終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

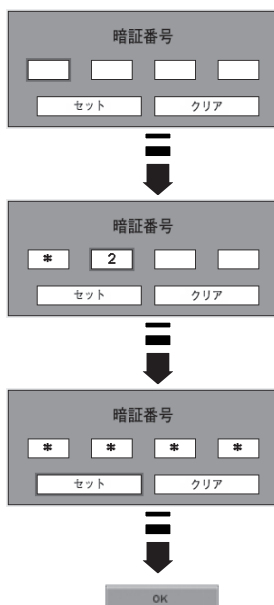
4 ［ポイント］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

6 [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

- 暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは 71 ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

★ セッティングメニューで、「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」（☞ 62 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞ 62 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが赤の点滅に変わり、ランプの冷却を始めます。

もう1度押すと電源が切れます

※ 表示は約 4 秒間出ます。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節することができます。☞ 74 ページ

ケースなどにしまう前に

本機は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押して電源を切ったら、すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、すぐにケースなどに収納すると、本体がしばらく高温になり故障の原因となりますので、プロジェクターがじゅうぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機 · 5 分」に設定されています。

☞ 68 ページ

入力信号なし
04 : 50

ランプ消灯までの時間

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」のとき

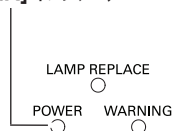
1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。

2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータの点滅が緑に変わり、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

設定が「シャットダウン」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。

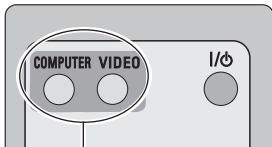
2）ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

[POWER] インジケータ
LAMP REPLACE
POWER
WARNING
I/⏻ ON/STAND-BY
AUTO SETUP

パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。（設定が「待機」のとき）

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

[COMPUTER]、[VIDEO] ボタン

リモコンの [COMPUTER] ボタンで「コンピュータ 1/2」に切り換わり、[VIDEO] ボタンは「ビデオ」を選択することができます。
☞ 43、44 ページ
※ 操作パネルに [COMPUTER]、[VIDEO] ボタンはありません。
※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。☞ 43、44 ページ

リモコン

[COMPUTER] ボタン
[VIDEO] ボタン

[COMPUTER] ボタン　**[VIDEO] ボタン**

※ セッティングメニュー内の「自動入力切換」で「オン 1/ オン 2」(☞ 60 ページ）を選択しているときは自動的に入力が切り換わります。このとき変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」 は表示されません。

投映画面の調整やその他の操作

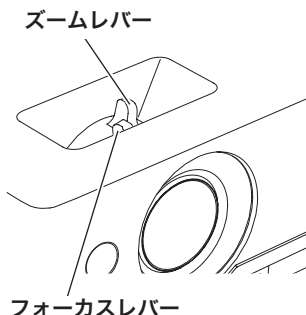
投映画面を調整する

画面の大きさを決める

ズーム

［ズームレバー］を回して､画面の大きさを調整します。

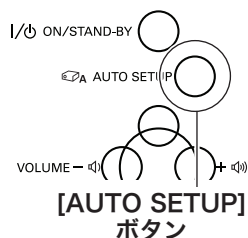
フォーカス

［フォーカスレバー］を回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

オートセットアップ

[ATUO SETUP] ボタン

「セッティング」メニューの「オートセットアップ」で設定した機能を自動調整します。☞ 60、61 ページ

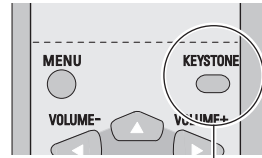
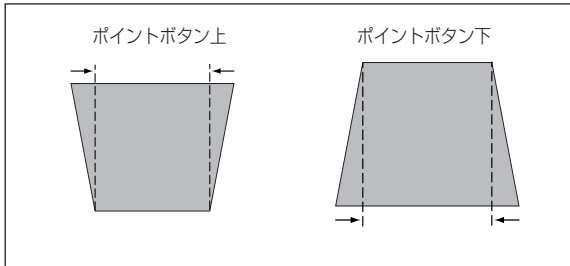
- 自動入力切換
- 自動 PC 調整（PC 入力時のみ）
- オートキーストーン

※リモコンに [AUTO SETUP] ボタンはありません。

キーストーン調整（台形歪みの補正）

[KEYSTONE] ボタン

リモコンのまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

［ポイント］ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※「セッティング」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。☞ 61 ページ

[KEYSTONE] ボタン

キーストーン

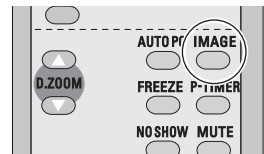
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示･オフ」(☞ 62 ページ）のときは表示されません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。
※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。

イメージモードを選択する

[IMAGE] ボタン

［IMAGE］ボタンを押すごとに､イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル / シネマ ＊」「黒（緑）板」「カラーボード」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

＊「リアル」はコンピュータ入力時に、「シネマ」はビデオ入力時に表示されます。

※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示･オフ」(☞ 62 ページ）のときは表示されません。

ランプの明るさを選択する

[LAMP CONTOROL] ボタン

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の３段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

[LAMP CONTOROL]
ボタン

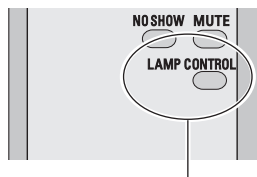
 明るい表示・・・**ノーマルモード**

 明るい表示に「A」・・・**オートモード**

 上部がグレーの表示・・・**エコモード**

※ボタンを押すごとに ➔ ➔ の順に表示が切り換わります。

※「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

※「セッティング」メニュー内の「ランプコントロール」からも調整することができます。☞ 69 ページ

画面を一時的に静止させる

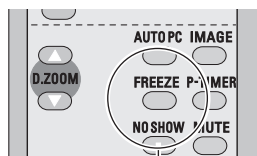
[FREEZE] ボタン

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

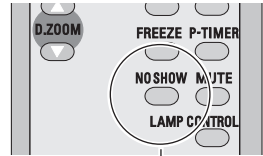
[FREEZE] ボタン

 こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す

[NO SHOW] ボタン

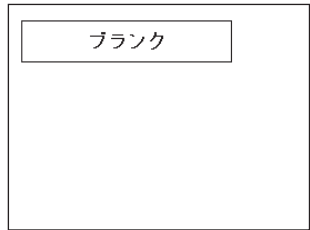
リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

[NO SHOW] ボタン

こんなときに便利です

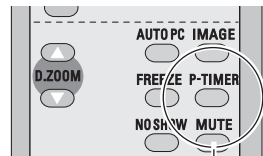
プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

ロゴ画面を表示させることができます

［NO SHOW］ボタンを２回押します。
「セッティング」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」（☞63ページ）を使い、「ロゴ選択：ユーザー」（☞62ページ）」 を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。

※ 表示は約４秒間出ます。
※「オンスクリーン表示･オフ」（☞62ページ）のときは表示されません。

プレゼン時に経過時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。

[P-TIMER] ボタン

こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

02 : 02

※ 00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

ダイレクトボタンで音を調節する

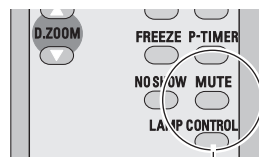
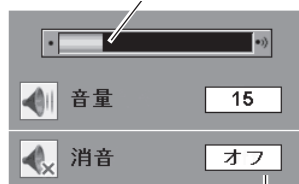
 音量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

[MUTE] ボタン

 消音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、表示が「オン」になり、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ ボタン（+/–）を押すと解除され、表示が「オフ」になります。

※［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。

音量の目安になります。

［MUTE］ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 62 ページ）のときは表示されません。

サウンドメニューで音を調節する

1 リモコンまたはコントロールパネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で、項目にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

 音量

［ポイント］ボタン左で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右で音量が大きくなります。
音量のバーを目安に調節してください。

 消音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

サウンドメニュー

サウンド メニュー

メニューを終了します。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー) の操作は、① ポインタを移動し、② ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

オンスクリーンメニューの例

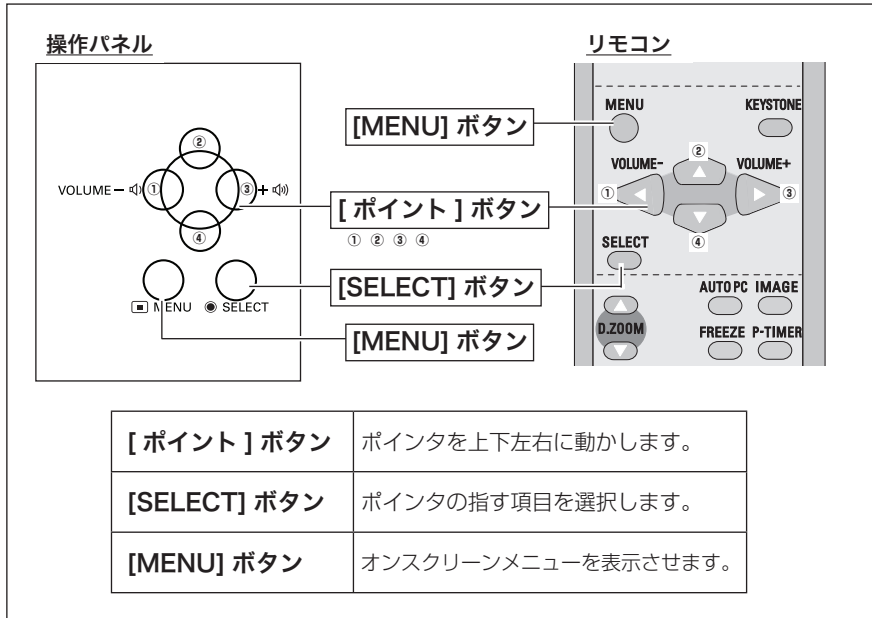
コントラスト Auto

① ポインタの動かしかた

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

[ポイント] ボタン	ポインタを上下左右に動かします。
[SELECT] ボタン	ポインタの指す項目を選択します。
[MENU] ボタン	オンスクリーンメニューを表示させます。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（☞41ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

2 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

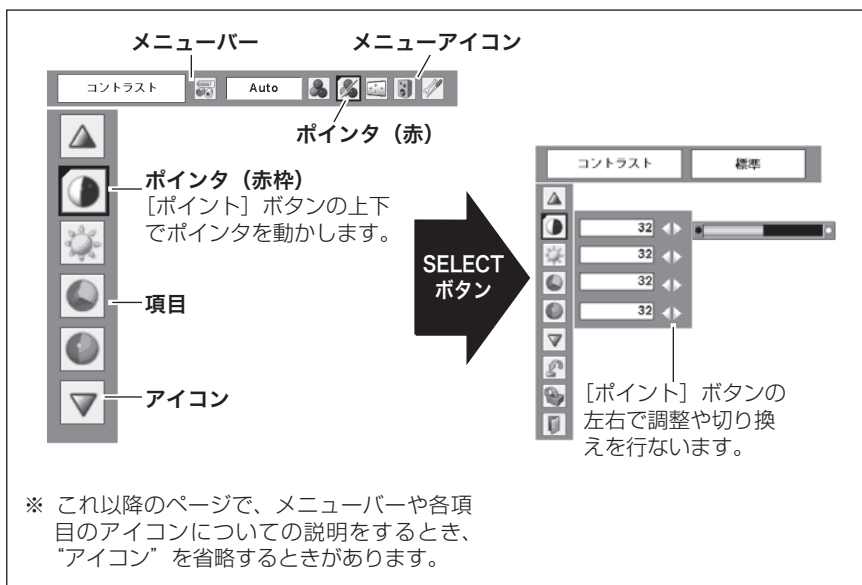
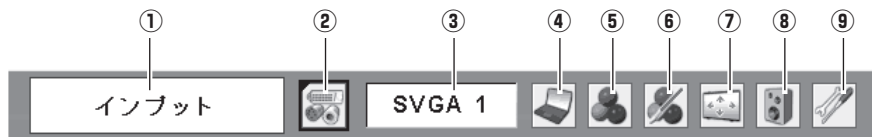
4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略するときがあります。

メニューバー

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨

インプット　SVGA 1

①	**ガイドボックス** オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
②	**インプットメニュー** 42 ～ 44 ページ 「コンピュータ 1/2/ ビデオ」を切り換えます。	
③	**システムボックス** 45、46 ページ コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④	**PC 調整メニュー *** 47 ～ 50 ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤	**イメージ選択メニュー** 51 ページ 画面のイメージモードを選択します。	ダイナミック、標準、リアル *、シネマ **、黒（緑）板、カラーボード、イメージ 1 ～ 4
⑥	**イメージ調整メニュー** 52 ～ 54 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ **、色合い **、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション **、プログレッシブ **、リセット、メモリー
⑦	**スクリーンメニュー** 55 ～ 58 ページ 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、リアル *、ワイド、フル *、カスタム、デジタルズーム＋ / － *
⑧	**サウンドメニュー** 38 ページ 音量の調節や消音の切り換えをします。	音量、消音
⑨	**セッティングメニュー** 59 ～ 76 ページ プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。	言語、オートセットアップ、キーストーン、ブルーバック、オンスクリーン表示、ロゴ、天吊り、リア投映、端子、スタンバイモード、パワーマネージメント、オンスタート、ランプコントロール、リモコンコード、セキュリティ、ファン、ファン制御、クローズドキャプション、ランプカウンター、初期設定

*　　コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
**　ビデオ画面のときのみ表示、または選択可

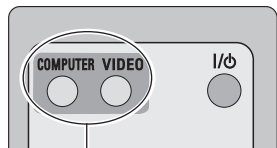
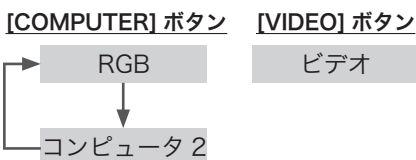
入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を選択します。

[COMPUTER]、[VIDEO] ボタン

リモコンの [COMPUTER] ボタンで「コンピュータ」に、[VIDEO] ボタンで「ビデオ」をそれぞれ選択することができます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。☞ 43、44 ページ

リモコン

[COMPUTER] ボタン
[VIDEO] ボタン

[COMPUTER] ボタン **[VIDEO] ボタン**

※ セッティングメニュー内の「自動入力切換」で「オン 1/ オン 2」(☞ 60 ページ)を選択しているときは自動的に入力が切り換わります。このとき変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」 は表示されません。

[INPUT] メニューで入力を切り換える

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを映したい入力に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
信号選択メニューが現れます。

3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを映したい信号に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

インプット メニュー

インプット
SVGA 1
コンピュータ 1
コンピュータ 2
ビデオ

インプット
メニュー
アイコン

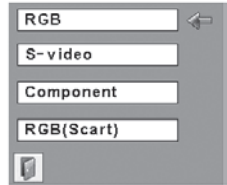
ポインタを合わせ、
[SELECT] ボタン
で選択します。

コンピュータ 1

RGB
[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子にコンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

S-video
[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子に S 映像信号が接続されているときに選択します。

Component
[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子にコンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

RGB（Scart）
[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子に映像機器の SCART 映像出力＊が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

※ [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] にビデオ機器からの S 映像信号またはコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピュータ 1」から「S-video」または「Component」をそれぞれ選択します。

＊ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMOPONENT IN] を専用のケーブルで接続します。[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMOPONENT IN] で再生される RGB SCART 信号は 480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータ 2

［COMPUTER IN 2/ MONITOR OUT］端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

※ セッティングメニューの中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」は表示されません。

ビデオ

［VIDEO IN］端子に、ビデオ入力信号が接続されているときに選択します。（信号選択メニューは表示されません）

※［COMPUTER IN/S-VIDEO IN/COMPONENT IN］に、ビデオ機器からの S 映像信号、またはコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピュータ」から「S-video」または「Component」をそれぞれ選択します。 ☞前ページ

コンピュータシステムの選択

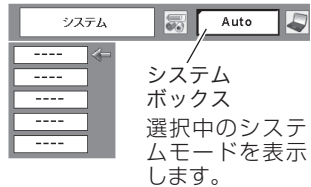
システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。☞ 90 ～ 92 ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

システムメニュー

システム　Auto

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞ 48 ～ 50 ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。
☞ 16、23 ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

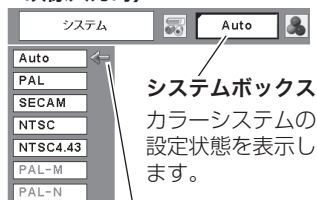
2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 ☞ 48 ～ 50 ページ

ビデオシステムの選択

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

システム メニュー（コンポジット映像またはS映像入力時）

システムボックス
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「*1*」「*2*」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

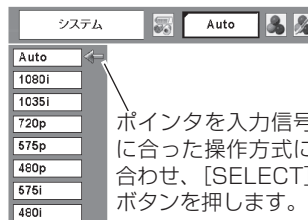
対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の操作方式

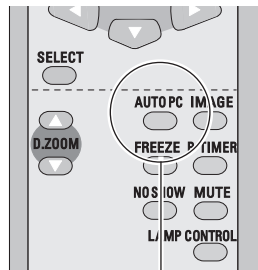
正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

ポインタを入力信号に合った操作方式に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の４項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。

［AUTO PC］ボタン

メニューから調整する

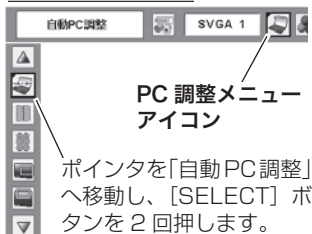
自動 PC 調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC 調整メニュー

PC 調整メニューアイコン

ポインタを「自動 PC 調整」へ移動し、［SELECT］ボタンを２回押します。

※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞ 48 ～ 50 ページ
※ 自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアル PC 調整の手順 *3*」をご覧ください。
※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。
※ ご使用のコンピュータまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが､コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの｢システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。｢カスタムモード」は 5 個まで登録することができます。

手　順

PC 調整メニュー

ポインタを合わせると、その他の設定項目が現われます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 **リセット**

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②｢はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと､調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。｢いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

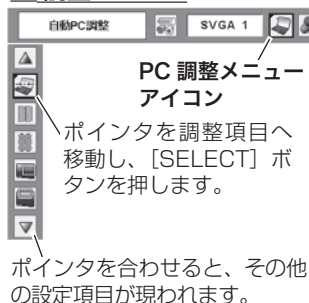
③ ポインタが「PC 調整」メニューの に移動します。

データ消去

① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、｢PC 調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 5」 のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。｢はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③｢はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと､「カスタムモード」の登録が解除され､「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは､｢いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC 調整データ消去メニュー

＊「カスタムモード」の登録状況（データあり / データなし）を表示します。

※「調整メニュー」の表示内容

既に「カスタムモード」が登録されています。

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 Vを表示します。

何も登録されていません。

このメニューをとじます。

メモリー

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC 調整データ登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

PC 調整データ登録メニュー

メニューを終了します。

項　目

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0 から 31 まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

［ポイント］ボタンの左右で値を調整します。

ポインタを合わせ［SELECT］ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

クランプ

クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

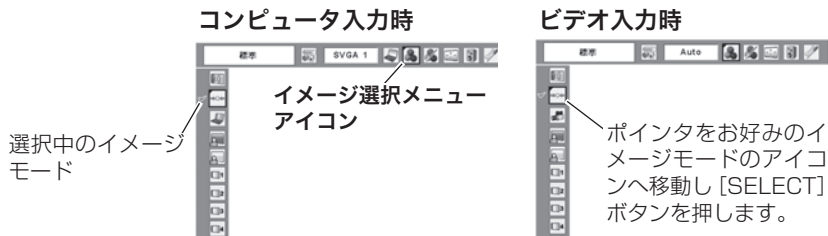
垂直解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

イメージの調整

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

コンピュータ入力時

ビデオ入力時

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

※ コンピュータ入力時のみ選択できます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

カラーボード

スクリーンの準備ができないときなど、色のついた壁などに投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

[SELECT] ボタンを押すと色選択画面が表示されます。投映面の色に近い項目を選択してください。

イメージ 1～4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

※ コンピュータ、ビデオのそれぞれで登録できます。

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

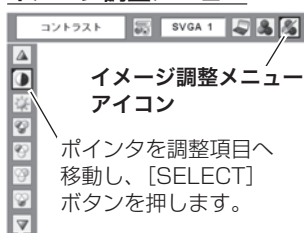
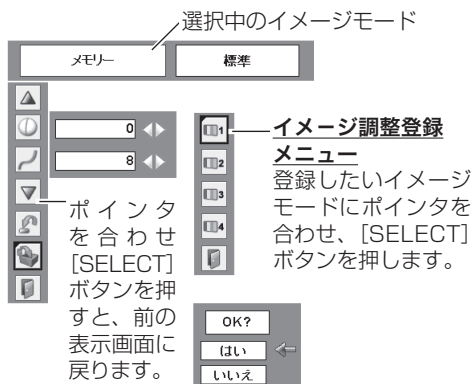
③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

 メモリー　※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

項　目 ［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀うすくなる　▶こくなる（0 ～ 63）

※ ビデオ信号入力時に現れる表示

明るさ

◀暗くなる　▶明るくなる（0 ～ 63）

色の濃さ

◀うすくなる　▶こくなる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

色合い

◀紫がかる　▶緑がかる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀超低へ　▶高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）～高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※ 「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス(赤 / 緑 / 青)

◀うすくなる　▶こくなる（各色 0 ～ 63）

画質

◀やわらかい　▶くっきり（0 ～ 15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
（0 ～ 15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1 ・・・ノイズリダクション：弱

L2 ・・・ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1 ・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2 ・・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

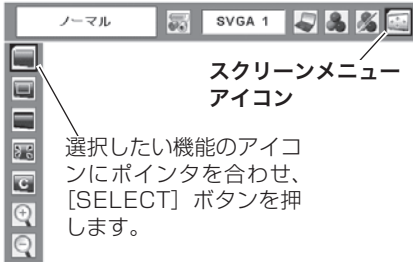
フィルム ・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズの調整

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

画面サイズの選択（コンピュータ入力時）

画像を有効投映画面注）の高さに合わせて投映します。

注）1024 × 768 ドット

ノーマル

※ 表示は約 4 秒間出ます。

画像をオリジナルサイズで投映します。

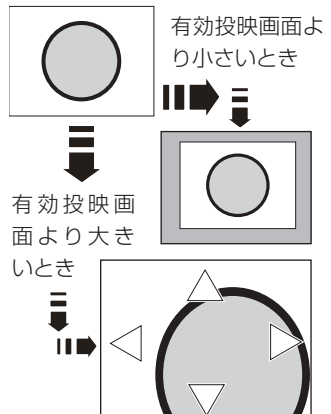
① 画像サイズが有効投映画面注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投映画面注）と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後オリジナルサイズで投映されます。

③ 画像サイズが有効投映画面注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム　+・−」は選択することができません。

リアル

有効投映画面より大きいとき

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

画像を有効投映画面注) の幅に合わせ、横 16：縦 9 のワイド画面で投映します。

アスペクト比、横 4：縦 3 のフルスクリーンサイズで投映します。

※ 「フル」を選択しているとき、「デジタルズーム ＋・－」は選択することができません。

デジタルズーム ＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときのみはたらきます。
リモコンの［D.ZOOM ▲］ボタンを押しても画像の拡大ができます。

デジタルズーム －

「デジタルズーム＋」で拡大した画像を縮小する（元の大きさに戻す）ときに使用します。
「デジタルズーム －」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom －」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小* します。
リモコンの［D.ZOOM ▼］ボタンを押しても画像の縮小* ができます。

*: 元の大きさに戻す

注) 1024 × 768 ドット

「カスタム」は次ページ

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ［SELECT］ボタンを押します。
※ 本機はUXGA（1600 × 1200 ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がUXGA (1600 × 1200 ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投映画面注）以外の画像データは、初期画面で有効投映画面注）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム −」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞ 45ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム −」が正しくはたらかないときがあります。

画面サイズの選択（ビデオ / コンポーネント入力時）

注）1024 × 768 ドット

ノーマル

通常の映像のアスペクト比、横4：縦3で投映します。

ワイド

DVDプレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比横16：縦9 のワイド画面で投映します。

画面サイズの選択（コンピュータ・ビデオ共通）

カスタム

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。
「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと､「カスタム」の表示*が現れ、約4秒後「アスペクト調整」画面が現れます。

*「オンスクリーン表示･オフ（☞ 62ページ)」のときは「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

カスタムつづき

スケール　H/V

垂直および水平のスケールを調整します。[ポイント]ボタンの左右で調整します。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

※「スケール　H」で調整し､数値の変化に合わせて「スケール　V」の数値も変化します。

ポジション　H/V

垂直および水平の位置を調整します。[ポイント]ボタンの左右で調整します。

共通

調整した内容を全ての入力（「インプット」）に反映します。**

[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録されます。

リセット

調整した内容を全てリセットします。

[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すとリセットされます。

カスタムのアスペクト調整画面

[ポイント] ボタンの上下で項目を移動し、[ポイント] ボタンの左右で、調整します。

** 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

※「スケール H/V」と「ポジション H/V」の調整範囲は、入力信号によって制限があります。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。

※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。

※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

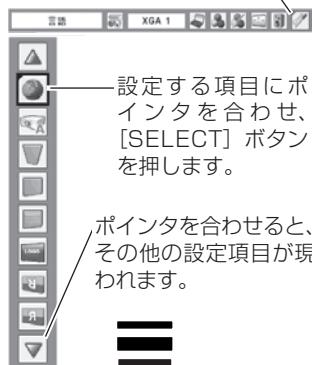
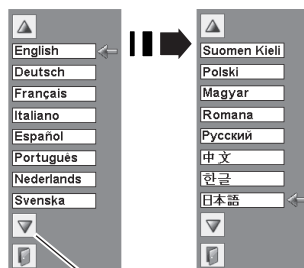
「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

手　順

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の16か国語の中から選べます。

言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。

ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、その他の言語が現われます。

オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行ないます。

自動入力切換

信号の有無を検出し、入力のある信号で自動的に止まる機能です。

オフ ・・・「自動入力切換」は作動しません。

オン 1 ・・・操作パネルの［AUTO SETUP］ボタン、リモコンの［COMPUTER］、［VIDEO］ボタンを押したときに作動します。

オン 2 ・・・以下のときに作動します。
① リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンで電源を入れたとき。
② 操作パネルの［AUTO SETUP］ボタン、リモコンの［COMPUTER］、［VIDEO］ボタンを押したとき。
③ プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなったとき。

日本語
メモリー
オン
オン
オフ
オフ
オン1
オン
自動

設定メニューを閉じます。

［ポイント］ボタンの上下で設定する項目を選択します。

※「オン 2・①」のとき、「暗証番号ロック・オン」に設定して暗証番号を入力しても「自動入力切換」は作動しません。
※「オン 2・③」のとき、オンスクリーンメニューが表示されているときに信号が入力されなくなったときは作動しません。その後メニューを消しても作動しません。
※「FREEZE」または［NO SHOW］実行中に信号が入力されなくなったときは、それぞれが解除されてから検出動作を開始します。
※「自動入力切換」が作動している途中に操作パネルの［AUTO SETUP］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタンを押すと、検出動作を停止します。
※ RGB 入力はセパレートシンクのみに対応しています。
※ 変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

自動 PC 調整

［ポイント］ボタンの左右で「オン・オフ」を切り替えます。

オン ・・・自動 PC 調整を行ないます。

オフ ・・・動作設定を行ないません。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

オートキーストーン

自動 ・・・プロジェクターを傾けると、いつも「オートキーストーン」が自動的に補正を行なうように設定します。

手動 ・・・本体の「AUTO SETUP」ボタンを押したときに「オートキーストーン」が働くように設定します。

オフ ・・・動作設定を行ないません。

※ 工場出荷時は「自動」に設定されています。
※ 電源を入れたときのカウントダウン中は動作しません。カウントダウン終了後に動作を開始します。
※「天吊り」機能が「オン」のときは選択できません。67ページ
※ 調整中に他のボタンが押されると中止します。このとき、押したボタンの機能は動作しません。
※ 設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのような場合は手動で補正を行なってください。

同時に３つの設定を「オフ」にはできません。
たとえば、「自動入力切換」と「オートキーストーン」を「オフ」にしたときは、「自動PC調整」は選択できなくなり、自動的に「オン」に設定されます。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。[ポイント] ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われます。[ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

メモリー ・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、[KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン ・・・すべての画面表示を出します。

ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ ・・・

ランプ点灯後 30 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。
投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- メニューバー表示 ☞ 41 ページ
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 ☞ 31 ページ
- P-TIMER 表示 ☞ 37 ページ
- 自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示
- 画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 ☞ 55 ページ
- 「D.zoom ＋」の矢印表示 ☞ 56 ページ

ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。
［SELECT］ボタンを押すと右下図が現れます。*

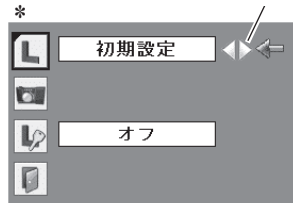
ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

［ポイント］ボタンの左右で設定します。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」は設定できません。
※「キャプチャー」を一度も行なっていないときや、取り込みを中止したときは、「ユーザー」は選択できません。

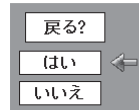
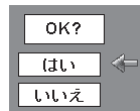
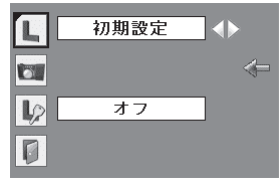
キャプチャー

投映している画面を静止画像として取り込むことができます。
取り込んだ画像はスタートアップロゴ（「ロゴ選択」）に設定することができます。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」* を選択し [SELECT] ボタン押します。

ご注意 *

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

「キャプチャー」について

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは「キャプチャー」は設定できません。
※「ユーザー」へ保存できるのは 1 画面のみです。
※「キャプチャー」を一度も行なっていないときや、取り込みを中止したときは、「ユーザー」は選択できません。
※ 適切な画面を取り込むために、「イメージモード」は「標準」を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
　コンピュータ・・・XGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1280 以上、「画面領域 V」を 1024 以上に設定すると不可）
　ビデオ・・・コンポジット、S ビデオ、480p、575p、480i、575i

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。
設定により以下のモードが選択できます。

オン ・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

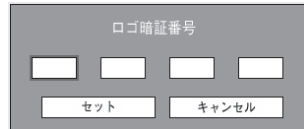
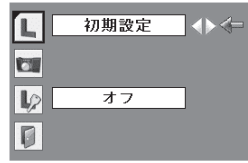
オフ ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手　順

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。＊
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り換え、選択します。
暗証番号の変更は 66 ページを参照してください。

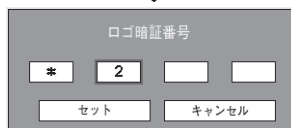
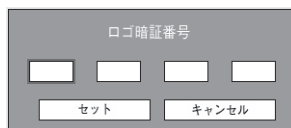
4 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを 🚪 に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。

前ページ「手順 *3*」

設定画面 へ

次ページへ

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

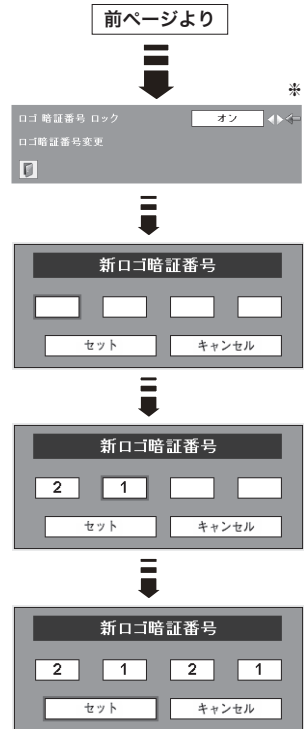
2 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 ４けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

4 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニュー（✻）の画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
　詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 99 ページ

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

端子

本機の後ろにある［CONPUTRE IN 2/MONITOR OUT］端子の切り換えを行ないます。入力端子として端子を使用するためには、「コンピュータ 2」を、「コンピュータ 1」の「RGB」の出力端子として使用するためには、「モニター出力」を選んでください。

※ 工場出荷時は「コンピュータ 2」に設定されています。
※ 「インプット」で「コンピュータ 2」を選択しているときはこの項目は選択できません。

スタンバイモード

サービスマンが使用する機能です。通常は「エコ」で使用してください。

エコ ・・・ スタンバイ時の消費電力を抑えることができます。

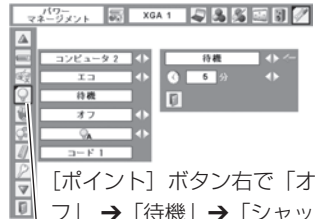
ノーマル ・・・エコよりスタンバイ時の消費電力が大きくなります。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

オフ ・・・ パワーマネージメント機能を解除します。

待機 ・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

シャットダウン ・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

［ポイント］ボタン右で「オフ」➔「待機」➔「シャットダウン」の順に表示が切り換わります。

［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1 〜 30 分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については 32 ページを参照してください。

入力信号なし
04 : 50

ランプ消灯までの時間

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞ 36 ページ)」または、「NO SHOW（☞ 37 ページ)」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞ 37 ページ)」はリセットされます。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・ 電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ ・・・ 通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり再点灯できる状態になるまで、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。

ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の3段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

 明るい表示・・・**ノーマルモード**

 明るい表示に「A」・・・**オートモード**

 上部がグレーの表示・・・**エコモード**

※ ［ポイント］ボタン右で → → の順に表示が切り換わります。

※「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

※リモコンの［LAMP CONTROL］ボタンで、直接ランプモードを切り換えることができます。☞ 36ページ

リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておくと、誤動作防止になります。

コード 1 ・・・1台目のプロジェクター用に使用します。

コード 2 ・・・2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※［ポイント］ボタンの左右で「コード 1」と「コード 2」を切り換えます。
※ 本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。☞ 20ページ

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

 ・・・ キーロックは「オフ」の状態です。

 ・・・ 操作パネルからの操作をロックします。

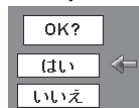
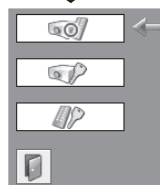
・・・リモコンの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

手　順

上記「*1* ～ *2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK ？」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※ 「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

手順は次ページへ

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。
設定により以下のモードが選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン 1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン 2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

手　順

前ページ「*1* ～ *2*」に続いて、

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オフ・オン 1・オン 2」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オフ・オン 1・オン 2」は［ポイント］ボタンの左右で切り換え、選択します。
暗証番号の変更は 73 ページを参照してください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを 🚪 に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

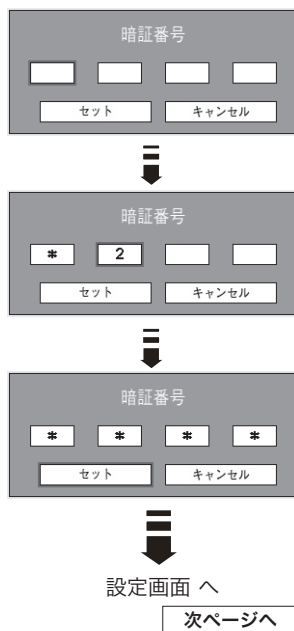
1 [ポイント]ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

2 ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。 ☞ 前ページ「手順 *5*」

暗証番号ロック

次ページへ

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

2 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

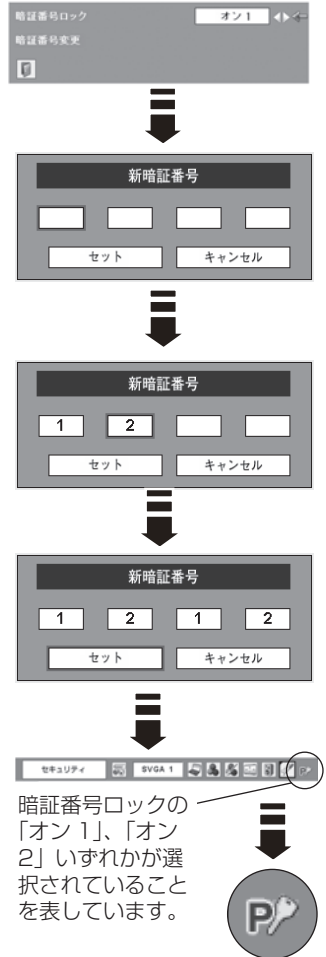
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 ４けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

4 さらに、「OK ?」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5 「暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

暗証番号ロックの「オン 1」、「オン 2」いずれかが選択されていることを表しています。

メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。「暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された。

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

L1 ・・・自動でファンの回転速度を調整します。「L2」より大きい音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投映時よりファンの音が気になるときがあります。

L2 ・・・ファンの回転速度を投映時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。

ファン制御

プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換える機能です。

オフ ・・・通常の回転速度。

オン 1 ・・・「オフ」より速い回転速度。

オン 2 ・・・「オン 1」より速い回転速度。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ ファンの音の大きさは「オフ」→「オン 1」→「オン 2」の順で大きくなります。

※「高地」の目安として、海抜約 1200m を超える地域では、「オン 1」で使用することを推奨します。
「オン 1」で有効な冷却効果を得られないときに「オン 2」に設定します。

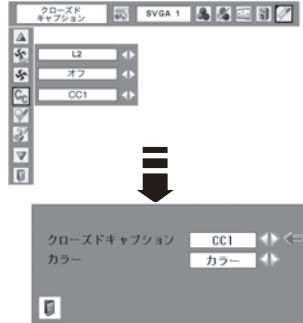
※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、故障の原因となります。

クローズドキャプション

クローズドキャプションの表示の選択と、表示する色を設定します。

クローズドキャプション ・・・
［ポイント］ボタンの左右で選択します。
「オフ /CC1 ～ CC4」

カラー ・・・［ポイント］ボタンの左右で選択します。
「カラー / ホワイト」

※ 工場出荷時は「オフ」/「カラー」に設定されています。
※ この機能が使えるのは入力信号がコンポジット、S- ビデオのときです。
※ メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

ランプカウンター

ランプカウンター（実使用時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。☞ 77、84 ページ

ランプ交換推奨時間を超えると、積算時間が赤で表示されます。

⚠注意 ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

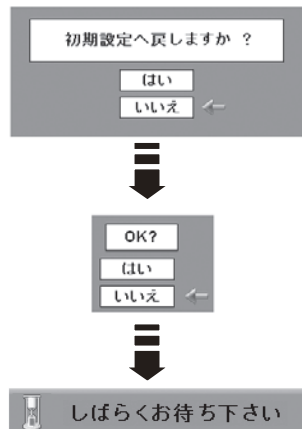
※ポインタは「2」の画面にある に戻ります。

初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
- ランプカウンター（使用時間）
- フィルターカウンター（使用時間）
- ロゴ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1. ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
2. 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
3. さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータの点灯

[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。[LAMP REPLACE] インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、[LAMP REPLACE] インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- 交換ランプの品番： POA-LMP123
  (サービス部品コード：610 339 1700)
- プロジェクターの品番： LP-XW60

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

手　順

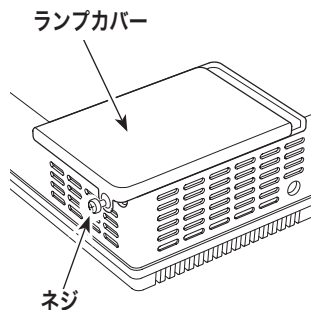
1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。

2 (+) ドライバーで 1 本ネジをゆるめ、ランプカバーを外します。

3 ランプハウスの 3 本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。

4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、3 本のネジを締めて固定します。

5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。

ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。☞ 75 ページ

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

ランプが点灯しなくなってから交換するときは、ランプが破裂しているおそれがあります。
とくに、天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。ランプカバーもそっと取り外して下さい。ランプカバーを外すときにガラスの破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
※ 13 ページの「ランプについての安全上のご注意」もご参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

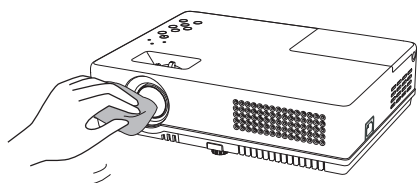
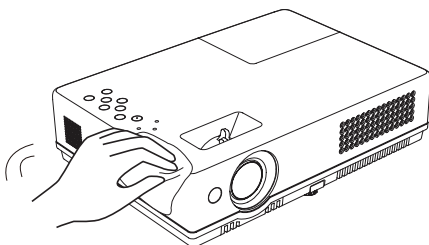
● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー(カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー)で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

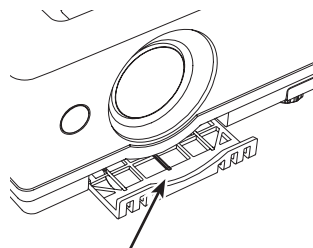
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは、次ページを参照)

エアフィルターはこまめにお掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞ 12ページ

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 エアフィルターを外側に引き出して外します。

3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

4 エアフィルターを溝に合わせて、取り付けます。

掃除の目安

一般的に約200時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

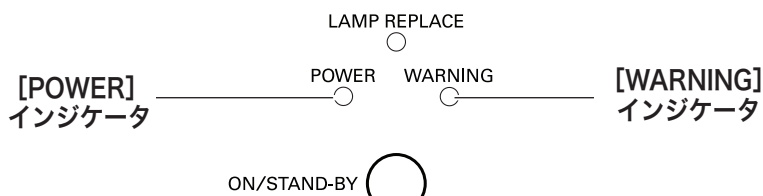
※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。（水洗いはしないでください）
それでも汚れが取れないときや、エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用エアフィルター（別売）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番：610-338-8588

お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部温度の上昇について

[WARNING] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING］インジケータ が赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、[POWER]インジケータが赤く点滅します。([WARNING]インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると ［POWER］インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の［ON-OFF］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING］インジケータの点滅が消えます。[WARNING］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING] インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯（赤）を始めます。このとき、リモコンおよび操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンでの「電源入り・切り」はできなくなります。
このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
正常な動作のとき	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
正常な動作のとき	◍	●	*	プロジェクターはスタンバイ状態です。 ［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押すと動作します。
正常な動作のとき	○	●	*	プロジェクターは正常に動作しています。
正常な動作のとき	\¦/ ◍	●	*	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが赤の点灯に変わるまで［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押して始動することはできません。
正常な動作のとき	\¦/ ○	●	*	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
内部の温度に異常があるとき	\¦/ ◍	\¦/ ◍	*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[POWER］インジケータが点灯（下記枠内の状態）に変わります。
内部の温度に異常があるとき	◍	\¦/ ◍	*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。([WARNING］インジケータは点滅したままです）［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、[WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
内部電源に異常があるとき	●（消灯）	▨（点灯：赤）	✻	プロジェクターの内部に異常が検出されました。[I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
ランプに異常があるとき	✻	✻	◍（点灯：黄）	ランプの寿命です。 すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。☞ 75 ページ ［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況（ランプコントロールの状態）によって異なります。

○ ･･･点灯：緑　○（点滅） ･･･点滅：緑　▨ ･･･点灯：赤　▨（点滅） ･･･点滅：赤

◍ ･･･点灯：黄　● ･･･消灯

✻[LAMP REPLACE] インジケータについて

［LAMP REPLACE］インジケータが点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯します。

故障かなと思ったら

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	**電源が入らない**	● 電源コードは接続されていますか。	26
		● 電源は入っていますか。［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。	28
		●［POWER］インジケータが消えているときは、［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源が 入りません。	83
		●［WARNING］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。	81～83
		●「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。	70
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	●「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	71～73
オープニング	**オープニング画面が出ない**	●「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	62
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	●「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	62
	インプットモードが自動的に切り換わる（切り換わらない）	●「自動入力切換」が「オン 2」（または「オン 1･オフ」）になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	60

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	23～25
		● 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく)	
		● レンズキャップを取りましたか。	
		● コンピュータモードのときは、コンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。	45、46
		● 使用温度範囲（5℃～ 35℃）からはずれていませんか。	
		● 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの［NO SHOW］ボタンを押してみてください。	
		● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	
		● コンピュータを再起動してみてください。	
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	34
		● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。	
		● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	
		● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	
		● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	79
	画面が暗い	● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。	53
		● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。	51
		● 「ランプコントロール」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。	36、69

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画面が暗い (つづき)	● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示でランプ交換時期をお知らせします。表示が出たら、新しいランプに交換してください。	77、78
	画像の色がおかしい・色が出ない	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	43～46
		● リモコンの［IMAGE］ボタン、または「メニュー」から「イメージモード」を確認し、適切な色に調整してください。	35、51
	逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。	67
	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	48～50 55～58
設定・操作・調整	自動 PC 調整が働かない	● 入力信号を確認してください。	90～92
	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	62
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	52
	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」の動作中は「パワーマネージメント」は作動しません。	
	「キャプチャー」が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	23～25
	「コンピュータ 2」が表示されない	● 「端子」が「モニター出力」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	67
	選択できないメニューがある	● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。	
	オートセットアップが正しく作動しない	● 設定が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	60
		● 「天吊り」が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	67

故障かなと思ったら（つづき）

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
設定・操作・調整	プロジェクターを傾けたのにキーストーンがはたらかない	● 操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンを押してみてください。	
		● 「オートキーストーン」の設定が「手動」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	61
	自動的に電源が切れる	● 工場出荷時の設定で「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」を確認してください。	68
	操作パネルで操作できない	●「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」を確認してください。	70
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。	19
		● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。	
		● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。	
		● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。	20
		● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	20
		●「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。	70
音声	音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	23～25
		● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	38
		● 消音状態になっていませんか。［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	38
		●［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていませんか。［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	**音が出ない（つづき）**	● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	
		●「インプット」で選択した信号の映像が投映されていますか。接続していても映像が投映されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	23～25
その他	**インジケータが点滅・点灯している**	●「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	83、84
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	
	ボタンを押したのに、! が表示された	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。	

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログのとき

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1 ～ 5」 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA1	640x480	31.47	59.88
VGA2	720x400	31.47	70.09
VGA3	640x400	31.47	70.09
VGA4	640x480	37.86	74.38
VGA5	640x480	37.86	72.81
VGA6	640x480	37.50	75.00
VGA7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	15.625	50.00
480i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	15.734	60.00
SVGA1	800x600	35.156	56.25
SVGA2	800x600	37.88	60.32
SVGA3	800x600	46.875	75.00
SVGA4	800x600	53.674	85.06
SVGA5	800x600	48.08	72.19
SVGA6	800x600	37.90	61.03
SVGA7	800x600	34.50	55.38
SVGA8	800x600	38.00	60.51
SVGA9	800x600	38.60	60.31
SVGA10	800x600	32.70	51.09
SVGA11	800x600	38.00	60.51
MAC16	832x624	49.72	74.55
XGA1	1024x768	48.36	60.00
XGA2	1024x768	68.677	84.997
XGA3	1024x768	60.023	75.03
XGA4	1024x768	56.476	70.07
XGA5	1024x768	60.31	74.92
XGA6	1024x768	48.50	60.02

コンピュータの信号がアナログのとき（つづき）

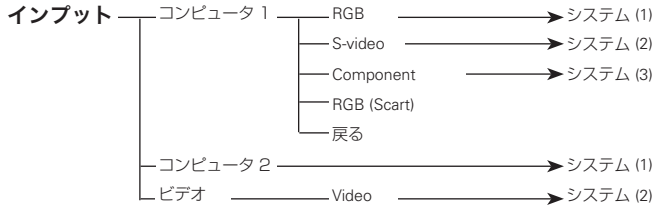
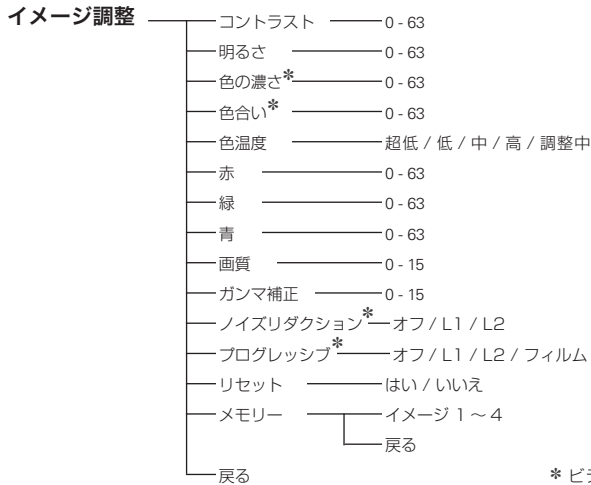
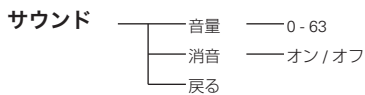
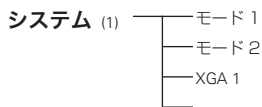
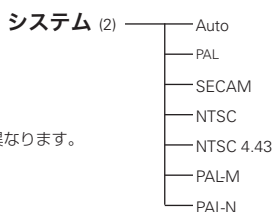
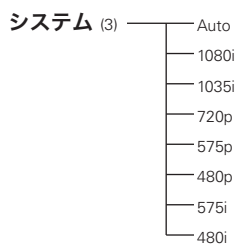
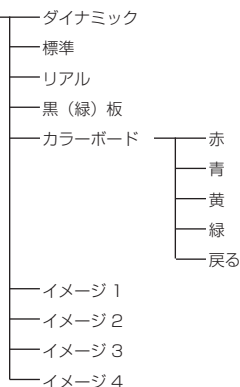
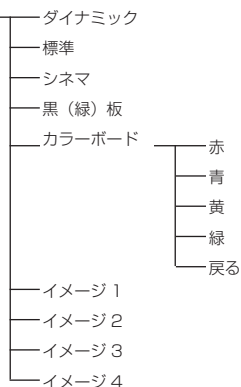
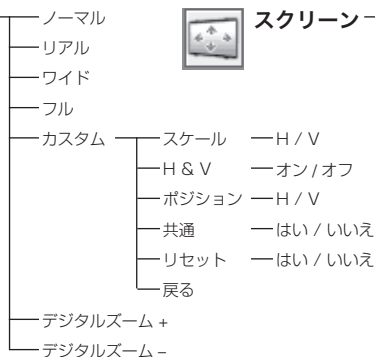
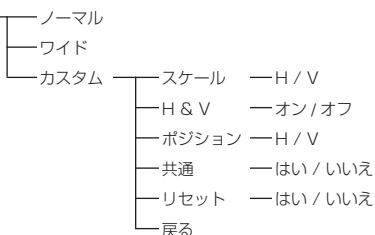
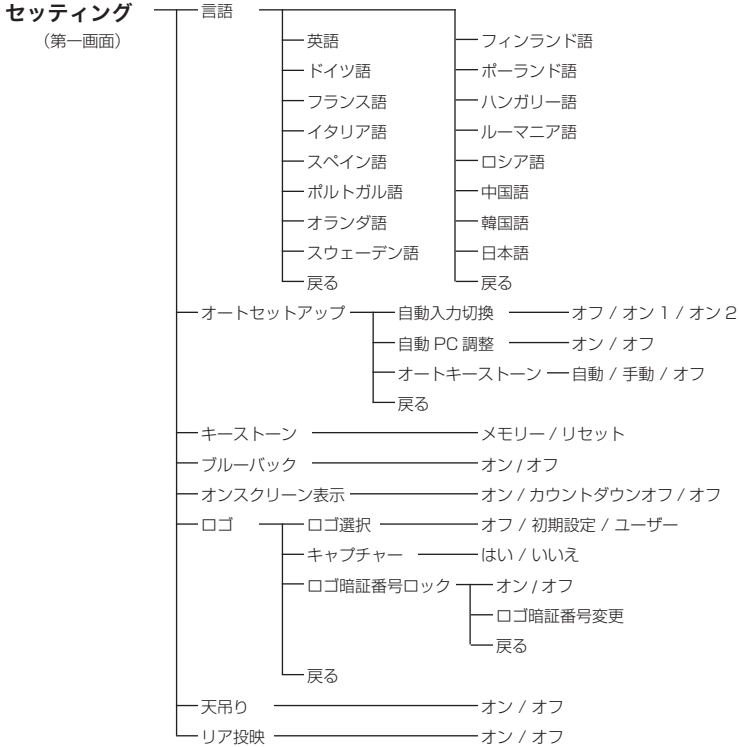
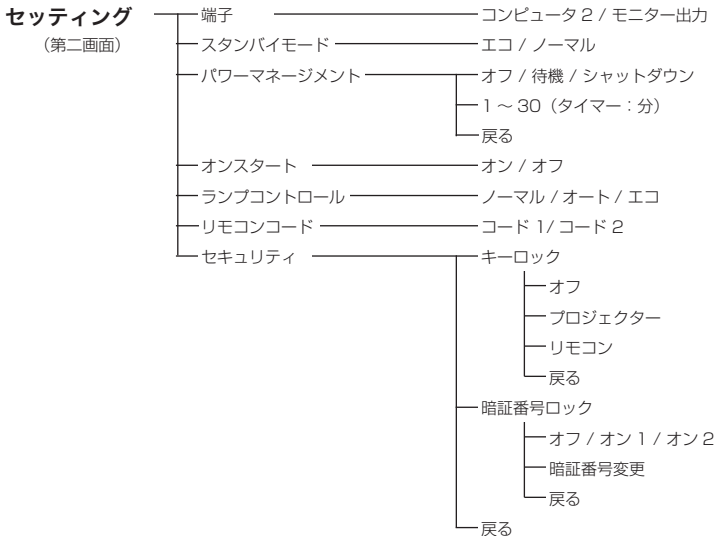
画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz）	
XGA7	1024x768	44.00	54.58	
XGA8	1024x768	63.48	79.35	
XGA9	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	36.00	87.17	
XGA10	1024x768	62.04	77.07	
XGA11	1024x768	61.00	75.70	
XGA12	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	35.522	86.96	
XGA13	1024x768	46.90	58.20	
XGA14	1024x768	47.00	58.30	
XGA15	1024x768	58.03	72.00	
MAC19	1024x768	60.24	75.08	
SXGA1	1152x864	64.20	70.40	
SXGA2	1280x1024	62.50	58.60	
SXGA3	1280x1024	63.90	60.00	
SXGA4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA13	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	50.00	86.00	
SXGA14	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	50.00	94.00	
SXGA15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA18	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	46.43	86.70	
SXGA19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA20	1280x1024	91.146	85.024	✻1
SXGA +1	1400x1050	63.979	60.190	
SXGA +2	1400x1050	65.346	60.116	
SXGA +3	1400x1050	65.121	59.902	
MAC21	1152x870	68.68	75.06	
MAC	1280x960	75.00	75.08	
MAC	1280x1024	80.00	75.08	
WXGA1	1366x768	48.36	60.00	

コンピュータの信号がアナログのとき（つづき）

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数（Hz)	
WXGA2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA6	1280x768	47.776	59.870	
WXGA7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA8	1280x768	68.633	84.837	
UXGA1	1600x1200	75.00	60.00	✻1
UXGA2	1600x1200	81.25	65.00	✻1
UXGA3	1600x1200	87.5	70.00	✻1
UXGA4	1600x1200	93.75	75.00	✻1
720p	1280x720	45.00	60.00	
1035i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	33.75	60.00	
1080i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	33.75	60.00	
1080i	ｲﾝﾀｰﾚｰｽ	28.125	50.00	

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 110MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
✻1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧

インプット：コンピュータ / ビデオ

イメージ調整

サウンド

メニュー内容一覧（つづき）

セッティング

セッティング
（第一画面）
言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
オランダ語
スウェーデン語
戻る
フィンランド語
ポーランド語
ハンガリー語
ルーマニア語
ロシア語
中国語
韓国語
日本語
戻る
オートセットアップ
自動入力切換
オフ / オン 1 / オン 2
自動 PC 調整
オン / オフ
オートキーストーン
自動 / 手動 / オフ
戻る
キーストーン
メモリー / リセット
ブルーバック
オン / オフ
オンスクリーン表示
オン / カウントダウンオフ / オフ
ロゴ
ロゴ選択
オフ / 初期設定 / ユーザー
キャプチャー
はい / いいえ
ロゴ暗証番号ロック
オン / オフ
ロゴ暗証番号変更
戻る
戻る
天吊り
オン / オフ
リア投映
オン / オフ
セッティング
（第二画面）
端子
コンピュータ 2 / モニター出力
スタンバイモード
エコ / ノーマル
パワーマネージメント
オフ / 待機 / シャットダウン
1 ～ 30（タイマー : 分）
戻る
オンスタート
オン / オフ
ランプコントロール
ノーマル / オート / エコ
リモコンコード
コード 1/ コード 2
セキュリティ
キーロック
オフ
プロジェクター
リモコン
戻る
暗証番号ロック
オフ / オン 1 / オン 2
暗証番号変更
戻る
戻る

メニュー内容一覧（つづき）

セッティング

コンピュータ入力

仕様

プロジェクター本体

型名	LP-XW60
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚 3 原色液晶シャッター方式
液晶パネル	サイズ : 0.63 型 x 3　アスペクト比 4:3 駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス 画素配列 : ストライプ 画素数 :786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚 総画素数 2,359,296 画素
投映レンズ	1.2 倍ズームレンズ　F=1.77 ～ 1.99　f=17.4 ～ 21.1mm
光源	165W UHP ランプ
画面サイズ	最小 40 ～最大 300 型（1.1m ～ 10.0m）
ズーム / フォーカス調整	手動
入出力 COMPUTER IN 1/2（可変）	アナログ RGB 入力 (入力 2 系統): ミニ D-sub_15 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
MONITOR OUT（可変）	アナログ RGB 出力 (出力 1 系統): ミニ D-sub_15 ピン
COMPONENT IN	コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号 Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
VIDEO IN	映像 : ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω
S-VIDEO IN	S 映像 : セパレート YC 信号 Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C;0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
音声 AUDIO IN	ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ : 右)
AUDIO IN COMPUTER	ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上
AUDIO OUT	（コンピュータ / ビデオ兼用）: ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	サービスポート : ミニ DIN 8 ピン
音声出力	モノラル　1W (JEITA)
スピーカ	2.8 cm　円形 1 個

プロジェクター本体（つづき）

走査周波数	水平 15k ～ 100kHz、垂直 50 ～ 100Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	230W、196W (ランプモード「エコ」時)、3.8W (待機中消費電力)
本体寸法	幅 264.0 ×高さ 55.0 ×奥行 188.0 mm (突起物を含まず)
質量	1.6 Kg

リモコン

電源	DC3.0V　単 3 形アルカリ乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 49 ×高さ 22 ×奥行 145.3mm
質量	100g (電池を含む)

付属品

■ リモコン（CXVM）…………………………………… 1 個
■ リモコン用アルカリ乾電池（単 3 型）……………… 2 本
■ 電源コード …………………………………………… 1 本
■ 電源プラグアダプタ ………………………………… 1 個
■ コンピュータケーブル（D-sub 用） ……………… 1 本
■ 取扱説明書 …………………………………………… 1 冊
■ 保証書
■ お客さまご相談窓口一覧 …………………………… 1 枚
■ レンズキャップ ……………………………………… 1 個
■ レンズキャップ用ひも ……………………………… 1 本
■ レンズキャップ用ネジ ……………………………… 1 本
■ PIN code lock シール ……………………………… 1 枚
■ キャリングケース …………………………………… 1 個
■ フェライトコア ……………………………………… 1 個

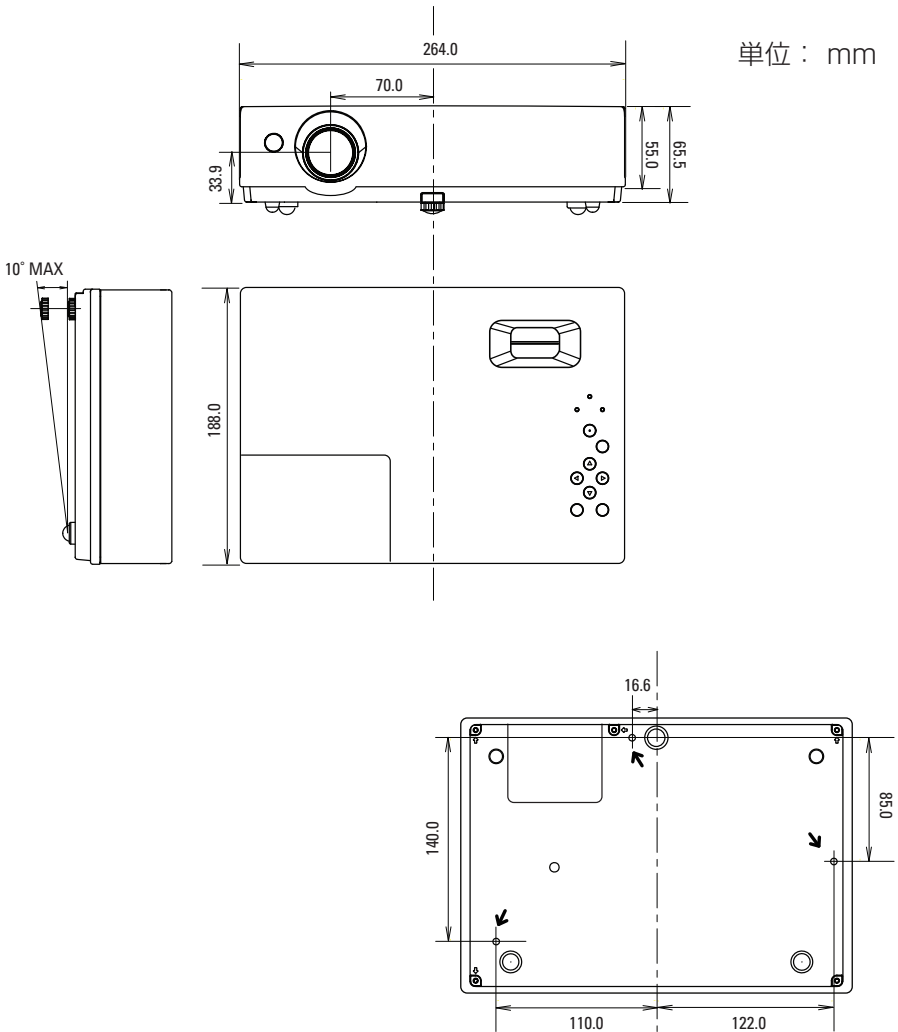
別売品

■ D-sub / コンポーネント ケーブル ・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-COMPVGA
■ D-sub / S-video ケーブル ・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-VGAS
■ 天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-XW60
■ 高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-UL01
■ 低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-US01

※ 高調波電流規格　 JIS C 61000-3-2:2005 適合品
※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

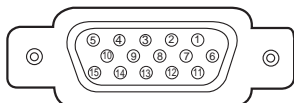
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

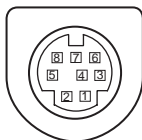
単位： mm

天吊り金具用のビス穴
ビス径：M4
深さ　：10mm

端子の仕様

COMPUTER IN 1 / 2 / MONITOR OUT（コンピュータ入力 / モニター出力端子）

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB 出力を出したりする端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を使用します。

1	R 入出力	9	＋5V パワー / 未接続
2	G 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

SERVICE PORT（サービス用端子）

サービスマンが使用する端子です。

1	R X D	5	未接続
2	未接続	6	T X D
3	未接続	7	未接続
4	接地	8	未接続

付録

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

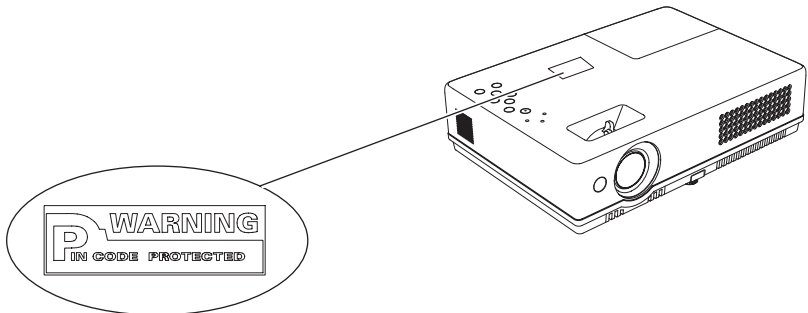
工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より、
本体・・・・・・1 年間
ただし光学部品（液晶パネル、偏光板、PBS）については 1 年間またはご使用時間 1,500 時間のどちらか早い方
光源ランプ・・・ランプ使用時間 500 時間

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品　番	LP-XW60
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー
プロジェクター事業部
商品部　商品二課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町 1 - 1

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

1LG6P1P0299-A (KD7CC) ⓐ